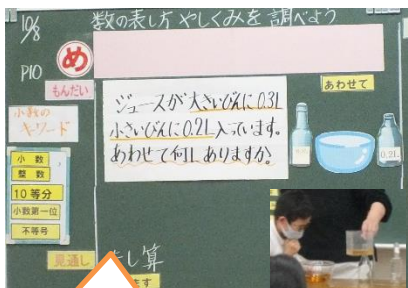


『主体的な学び』を促す授業改善の事例（算数科）

三次市立酒河小学校

①見通しの持たせ方の工夫（学習課題の提示，問題把握の工夫）

【問題把握の工夫】



第3学年 「小数」

具体物を活用することで，全ての児童に問題把握を促すことができました。

【見通しの視点】



第5学年 「平均」

- ①答えを求めるための見通し
 - ②説明をするための見通し
- をそれぞれ出し合うことで，本時の課題を解決する見通しを持たせ，自力解決につなげることができました。

【学習課題の提示】



第6学年 「データの調べ方」

ゲーム感覚のある課題提示の方法を取り入れることで，児童が意欲をもって考えることができました。

②自力解決を支援する工夫（ヒントカードの活用，既習内容の提示，板書の工夫）

【既習内容の提示】



第1学年 「どちらがひろい」

既習事項を提示し，確認することで，自力解決のヒントを得やすくなりました。

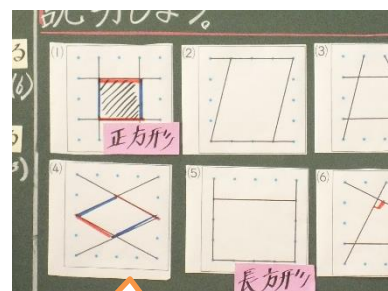
【板書の工夫】



第2学年 「かけ算」

具体物を活用し，問題を対比できる板書にすることで，自力解決を促すことができました。

【視覚支援】

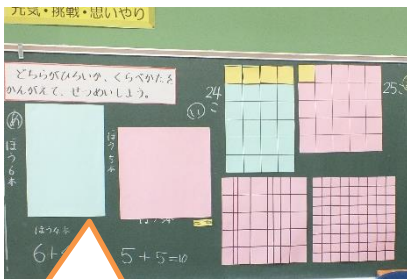


第4学年 「垂直，平行と四角形」

見つけた平行な辺を赤や青で色分けすることで，平行の関係にある辺に着目することができました。

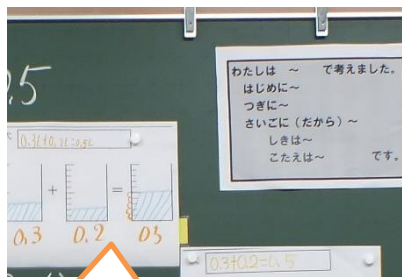
③学び合いの設定【協働的な学び合い】（話し合いの場の設定や効果的な練り合いの工夫）

【話し合いにつなげる工夫】



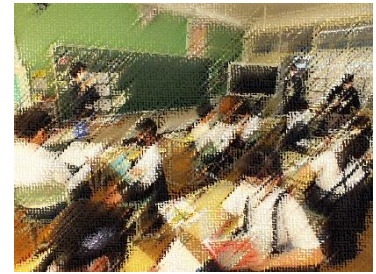
第1学年 「どちらがひろい」
同じ広さのますを並べるということをつかませるために、あえて違う広さのますを並べた図を指導者が提示したことで、効果的な話し合いにつながりました。

【話型の活用】



第3学年 「小数」
話型に沿って自分の考えを説明することで、ペア学習を効果的に行うことができました。

【ペア学習】



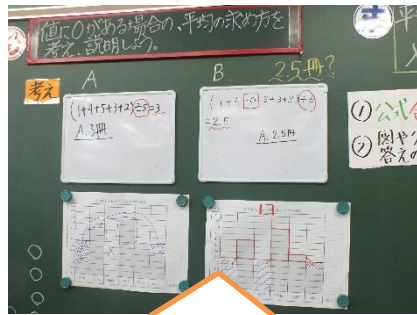
ペア学習を取り入れ、全員が他者に自分の考えを表現する時間を確保することができました。

【ICTの活用】



第4学年 「垂直、平行と四角形」
全体交流の際に、電子黒板を活用し、板書と対比しながら話し合うことで考えを深めることができました。

【ホワイトボードの活用】



第5学年 「平均」
児童の考えを提示する際、ホワイトボードを活用し、対比できるように提示することで、どちらの考えが正しいのか、話し合いをより活性化させることにつながりました。

『主体的な学び』を促す授業改善のため、本校で意識して取り組んだことを3つ紹介しました。

①見通しの持たせ方の工夫、②自力解決を支援する工夫、③学び合いの設定【協働的な学び合い】を意識して授業を進めることで、児童がより主体的に学習に取り組むことができました。

